

和歌浦十景関係地図



吹上淡月



松間釣舟



玉津春暁



名草晩潮



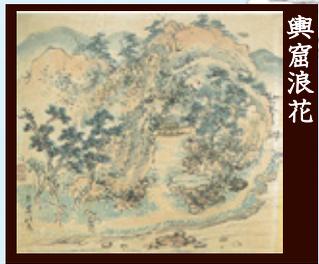
雑賀漁火



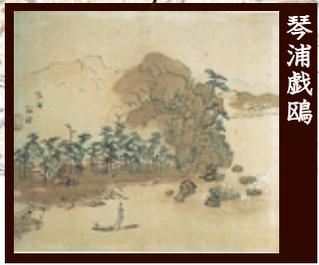
蘆洲鳴鶴



松汀積雪



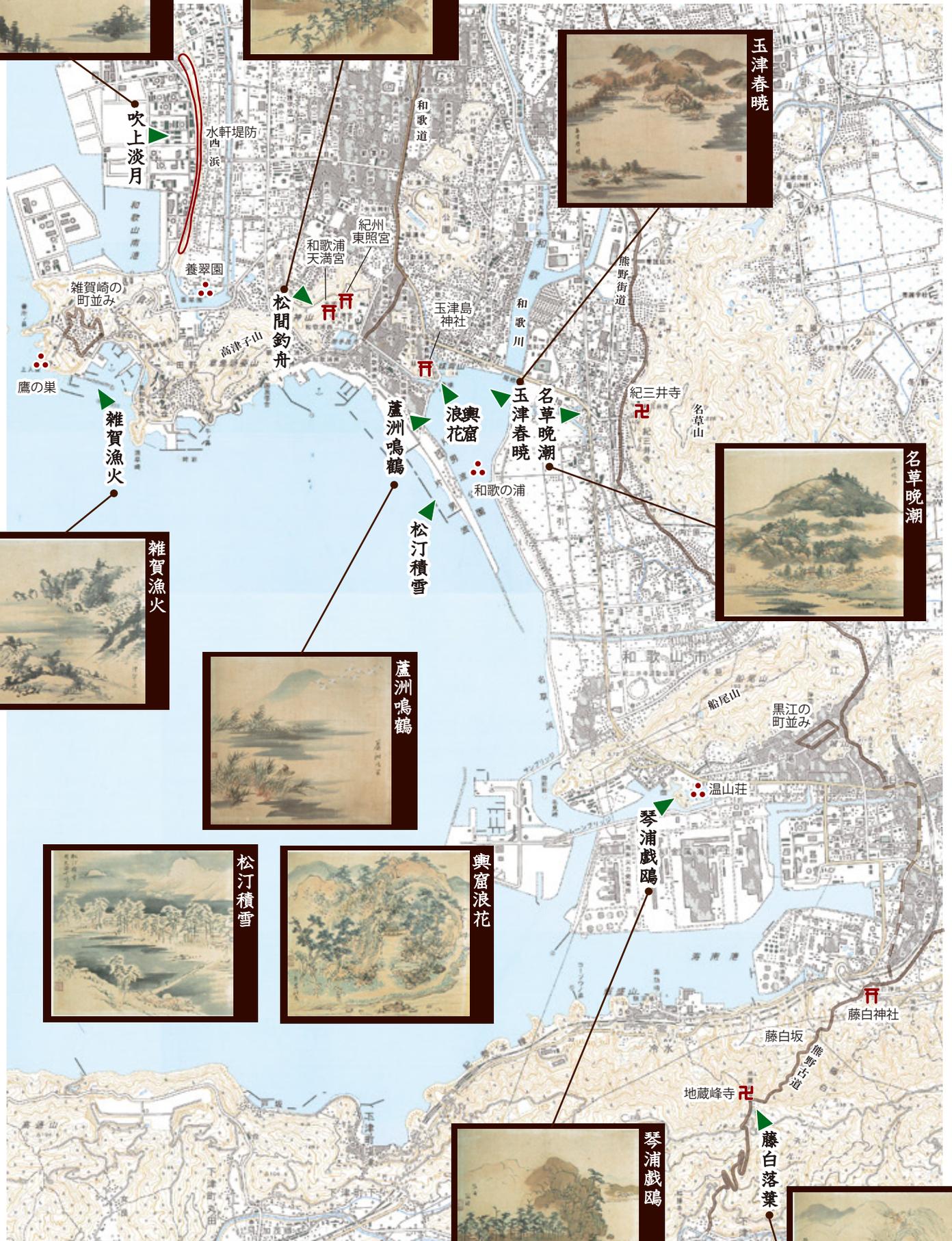
奥窟浪花



琴浦戯鷗



藤白落葉



## 【和歌浦十景とは】

江戸時代、中国の瀟湘八景になぞらえ各地で八景とされた景色があり、和歌山でも加太から和歌浦、藤白までを吹上八景(紀八景)としていた。それに対し江戸時代中頃、和歌浦出身の絵師・桑山玉洲は、古来の和歌の聖地・和歌の浦の歴史を重視し、和歌の浦の名所十景と、万葉集や新古今和歌集でうたわれた情景を見事に融合させて『明光浦十覧冊』を描いた。その景色は、和歌の浦を象徴するものとして、文芸・美術工芸の題材となっていく。江戸時代後期には、岡本緑邨が同じ構図で『明光浦十景図』を描いた。



玉津春暁の景色

岡本緑邨筆『明光浦十景図』



【玉津春暁】…妹背山(観海閣・多宝塔)  
春霞の中、干潟越しに妹背山をはじめ玉津島の岩山が並ぶ。



【吹上淡月】…吹上～西浜(水軒堤防)  
吹上の砂丘は、現在では市街地の下に埋もれてしまっただが、江戸時代後期の石積堤防である水軒堤防に、かつての海岸砂丘の面影がみえる。



【琴浦戯鷗】…琴ノ浦(琴ノ浦温山荘園)  
鷗が戯れるとうたわれた琴ノ浦には、大正時代、名園・温山荘が築かれた。



【松間釣艇】…天神山(和歌浦天満神社)  
天神山から、海を見下ろすと松林の間に釣船が見え隠れする。



【蘆洲鳴鶴】…和歌川干潟  
万葉歌人・山部赤人の和歌にちなみ、干潟の芦辺に鶴が飛ぶ様子は、和歌の浦の重要な要素である。



【奥窟浪華】…鏡山(塩竈神社)  
玉津島山の鏡山には、加羅岩の岩山に波に削られてできた洞窟があり、潮の満干で波が打ち寄せる。



【財賀漁火】…雑賀崎(鷹の巣)  
雑賀崎は、鷹が巣を作るような断崖が絶景となり、漁師の漁火は万葉集にもうたわれた。



【名岬晚潮】…名草山(紀三井寺)  
和歌浦湾の東にそびえる名草山が、満潮時に夕陽に映え、紀三井寺の鐘がなる。



【藤白落葉】…藤白坂(藤白神社・地藏峰寺)  
晩秋の藤白坂から、紅葉の山並み越しに見る和歌の浦の景色。



【松汀積雪】…片男波  
和歌浦の干潟を外海と隔てる砂州は、山部赤人の和歌にちなみ片男波とよばれ、松林に雪が積もる。